

## 事前意見に対する対応方針

| 番号 | 意 見   | 対 応 方 針  | 参 考  |
|----|---|--|------|
| 1  | <p><b>【水害ハザードマップについて】</b></p> <p>現在の水害ハザードマップでは、南海トラフ巨大地震による津波と高潮、また、大和川氾濫と寝屋川流域河川の氾濫の色が似ています。</p> <p>現在の色分けはやめて、南海トラフ巨大地震による津波、高潮、大和川氾濫、寝屋川流域河川の氾濫、内水氾濫のそれぞれの色分けにした方が実用的ではありませんか。</p>                    | <p>水害ハザードマップは、危機管理室が24区分を作成し、印刷しております。</p> <p>水害ハザードマップの浸水想定の見出しの色は、「大雨のときの洪水」、「台風のときの洪水・高潮」、「津波」を区別するために設定しております。この色分けの仕様は、24区すべてで統一されています。</p>   | 畑委員  |
| 2  | <p><b>【避難所での電源について】</b></p> <p>EV車のバッテリー性能はメーカー側で検証されていますが、電動アシスト自転車については、使用可能な電力量や、どの程度の機器を稼働できるのかが分かりにくい面があります。</p> <p>そこで、住吉区防災専門会議にて、電動自転車を用いた電力供給を検証してはどうでしょうか。</p> <p>なお、山之内地域では、日産のEV車で検証しました。</p> | <p>避難所における電源確保策としての活用を検討するため、電動アシスト自転車の給電アダプターを2台購入しました。</p> <p>本アダプターは出力がUSBポートのみとなっており、供給対象は電子機器等になると考えております。なお、容量は、16Ahのバッテリーでスマートフォン（容量：約3,000mAh）を約20回充電することができます。</p> <p>防災専門会議では、業務で使用している電動アシスト自転車のバッテリーを用い、実機を確認していただきます。</p> | 佐伯委員 |

## 事前意見に対する対応方針

| 番号 | 意 見  | 対 応 方 針  | 参 考  |
|----|--|--|------|
| 3  | <p><b>【防災情報紙について】</b></p> <p>大和川は、近年の工事などにより川幅が変化しており、水害への備えが進められています。</p> <p>一方で、平成29年10月の台風21号では、大和川の水位が危険水位まで上がり、「避難準備・高齢者等避難開始」に続き「避難勧告」が発令されました。こうした経緯を踏まえ、大和川の現地調査も必要と思われます。</p> | <p>大和川の氾濫を想定する際の計算条件は、国土交通省近畿地方整備局大和川河川事務所が平成28年5月に公表したものにに基づき算出されています。</p> <p>大和川河川事務所を確認したところ、被害想定は大規模な工事などにより変更されることはありますが、現在の工事も含め被害想定が変更される予定はないということです。</p> <p>大和川において危険な箇所があれば、国土交通省近畿地方整備局大和川河川事務所に連絡させていただきます。</p>  | 佐伯委員 |
| 4  | <p><b>【府立高校について】</b></p> <p>大阪南視覚支援学校は山之内地域内にあります。避難所に指定されているそうですが、総合防災訓練の際には、地域の避難所として実際に利用されていなかったと記憶しています</p> <p>学校周辺に住む住民としては、避難所としての利用や活用をより進めていきたいと考えています。</p>                   | <p>災害時避難所は各地域に複数ありますが、災害発生時にどの避難所を開設するかについては、避難所運営を実施いただく地域に決定していただいております。</p> <p>山之内地域では、山之内小学校を開設し、必要に応じて浪速中学校・高等学校や大阪南視覚支援学校を開設することとしています。</p> <p>今後の住吉区総合防災訓練において大阪南視覚支援学校での訓練の実施希望が地域よりあった場合は施設利用等について学校と協議してまいります。</p> | 佐伯委員 |

## 事前意見に対する対応方針

| 番号 | 意 見   | 対 応 方 針  | 参 考   |
|----|---|--|-------|
| 5  | <p><b>【防災行政無線の音声放送の内容の確認について】</b></p> <p>防災行政無線テレホンサービスで確認できる放送内容は、区ごとに確認できるのでしょうか。防災アプリでは区ごとに内容を確認ができるようです。</p> <p>現在のような全区共通の電話番号ではなく、各区が独自の内容を放送した場合に、区ごとの電話番号で確認できると便利だと思います。</p> | <p>防災行政無線テレホンサービスでは、全区で放送した内容を再生することができ、録音データは24時間後に自動で消去されます。</p> <p>危機管理室に確認したところ、本サービスは全区共通のシステムのため、区ごとに専用の電話番号を設けることはできませんが、放送内容については、音声の途中で次の内容にスキップすることも可能となっております。</p>  | 吉城委員  |
| 6  | <p><b>【高層マンションについて】</b></p> <p>地域内で高層マンションが増えています。</p> <p>高層マンションに対する災害時の啓発など、区としての取り組まれていることがありますか。</p> <p>また、高層マンションで起こりやすい被害について教えてください。</p>                                       | <p>住吉区では、高層住宅などのマンション住民の防災意識の向上と、住民同士のつながりづくりを促進することを目的として、集合住宅向け防災講座を実施しています。</p> <p>防災講座では、高層住宅では建物の揺れが大きくなりやすく室内の被害が拡大しやすいことから家具の固定や配置を見直すこと、また断水やトイレの使用制限が長引くことやエレベーターが停止することがあるため、飲食料やトイレの備蓄が重要であることなどを周知しています。</p> | 鍛冶本委員 |